

第49回 医学教育セミナーとワークショップ

開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。

第49回医学教育セミナーとワークショップは、第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会と同時開催いたします。奮ってご参加下さい。

岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木康之

日程 2013年8月9日(金)～10日(土)

会場 岐阜大学医学部

WS-1 医学／医療者教育をネタに研究する！

— 先行研究をあたって理論的枠組みを構築する

WS-2 卒前の医学教育に携わる方のための、

楽しい医学教育ベーシック

WS-3 多職種連携医療教育の“一粒で二度美味しい”シナリオづくり

セミナー 協働するナラティブ：

コミュニケーションとナラティブは何が違うか？

講師：野村直樹（名古屋市立大学）

※セミナーと懇親会は、第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会と共通です。

プログラム日程

8月9日 (金)	PM	WS-1	WS-2	WS-3
	夕	セミナー		
	夜	懇親会		
8月10日 (土)	AM	WS-1	WS-2	WS-3

WS-1 医学／医療者教育をネタに研究する！ — 先行研究をあたって理論的枠組みを構築する

企画： 錦織 宏（京都大学）

日時： 2013年8月9日（金）13：00～17：00、10日（土）8：30～12：30

概要： 実際に自分の関わっている教育活動をネタに国内外の医学教育学会で発表したり論文にまとめたりしようと思った時、「教育効果をアンケートを使って数字に落とし込んだけど、なんだかうまく現場の雰囲気伝わらないなあ」と感じたり、「先行研究をあたろうと思うんだけど何をキーワードに探したらいいのかわからない」と思ったりしたことはありませんか？このワークショップでは、医学／医療者教育研究をやろうと思っている方もしくは実際に進めている方を対象に、当日講師のサポートのもとで実際に先行研究をあたり、他の参加者とのフラットな議論もしながら、研究を一步進めることをゴールとします。事前に研究内容についてのごく簡単なプレゼンテーションを作ってきていただきます（途中のものでもまだアイデアのみという形でもかまいません）。※先着順に締め切らせていただきます。またパソコンとインターネット環境（WiFiなど）をお持ちください。

対象： 国内外の医学教育学会で一般口演・ポスター発表をしようと思っている方、および医学・医療者教育研究で論文を書こうと思っている方

定員： 12名

WS-2 卒前の医学教育に携わる方のための、楽しい医学教育ベーシック

企画： 鈴木康之・西城卓也・村上啓雄（岐阜大学）、椎橋実智男（埼玉医科大学）、菊川 誠（九州大学）

日時： 2013年8月9日（金）13：00～17：00、10日（土）8：30～12：30

概要： 現在、卒前の医学教育は、日々大きく革新し続けています。医学生は、より早期から現場に携わることが求められ、より能動的で自主的な学習の態度が求められる一方、グループで協同的に学ぶことも期待され、臨床実習においても診療への参画が要求され、その期間は延長される傾向にあります。一方、教員には、医学生を成人として捉え、より学生中心で、双方向的な教育の提供が求められ、かつ指導自体の評価をつけることも多くなってきています。現代は、もはや私たち自身が受けた医学教育の再現のみでは、社会が求める新しい医学教育に対応することが難しい時代となりました。本WSでは、低学年の教養教育から高学年の臨床実習まで卒前教育カリキュラムを俯瞰し、学年の順を追って共有・議論します。そして医学教育の実践に必要な、教育の総論を学べる楽しい企画を狙います。

対象： 医学部教育に携わっており、卒前教育の全体像を把握し教育のいろはを学んでみたい医学部教員

定員： 30名

WS-3 多職種連携医療教育の“一粒で二度美味しい”シナリオづくり

企画： 川上ちひろ・鈴木康之・今福輪太郎（岐阜大学）、前野貴美（筑波大学）、高木 康・片岡竜太（昭和大学）、吉村 学（地域医療振興協会）、安井浩樹（名古屋大学）、小川哲次・長谷由紀子（広島大学）

日時： 2013年8月9日（金）13：00～17：00、10日（土）8：30～12：00

概要： 多職種連携医療教育で、シナリオを用いた学習方法は一般的に行われています。しかしより教育効果がある質の高いシナリオを作成するのは、かなりの時間と検討が必要です。まして初心者にとってシナリオを作成することはかなり困難なことだと思います。今回は以下のいくつかの場面を設定して、実際に多職種連携医療教育を実践しているタスクと一緒にオリジナルシナリオを作成します。そして作成中同時作業で、初心者にもわかりやすい「シナリオ作成のコツ」も列挙していただく“一粒で二度美味しい”多職種連携医療教育のシナリオづくりを行います。

- ①多職種が担当する患者の問題をチームで把握し、患者家族のための治療ケアプランを立てるシナリオ
- ②多職種が患者・家族のケアに関わるPBLテュートリアルで用いるシナリオ
- ③多職種で入院中の喘息患者の退院療養計画を立てる臨床実習中の学生向けのシナリオ
- ④歯科診療の口腔ケアを行う際が多職種が関わるシナリオ
- ⑤地域医療の現場、特に在宅医療の領域で、多職種が関わる場面のシナリオ

対象： 多職種連携医療教育のシナリオづくりに興味がある方、多職種連携教育に携わっておられる方

定員： 30名

セミナー 協働するナラティブ： コミュニケーションとナラティブは何が違うか？

講師： 野村直樹（名古屋市立大学）

日時： 2013年8月9日（金）17：15～18：15

概要： 講師の野村直樹先生は、文化人類学や精神医学の分野で有名なグレゴリー・ベイトソンのもとで学ばれ、文化人類学の視点から「異文化間コミュニケーション」や「臨床の場でのコミュニケーション」を専門に研究されています。

最近では「語り」「物語り」（ストーリー、ナラティブ）という側面に光を当てた研究にもアクティブに取り組んでおられ、多文化間精神医学会の雑誌「こころと文化」で「時間と臨床」という特集号の編集をされました。

今回のセミナーは「協働するナラティブ：コミュニケーションとナラティブは何が違うか？」というテーマでセミナーをお願いしましたので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会と共通です

URL：<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/seminarworkshop/2013/49th/hc2013.html>



予告

第50回医学教育セミナーとワークショップ（秋）のお知らせ

概要： 2000年3月から始まり、全国の医療教育関係者にご参加・ご企画いただいております医学教育セミナーとワークショップも、この秋ついに50回を迎えます。無事にこの時を迎えることが出来たのも、ひとえにご参加いただいている皆様のお陰でございます。厚く御礼申し上げます。全国共同利用拠点として岐阜大学医学教育開発研究センターも、皆様とともに今後ますます医学教育の開発・発展と研究に邁進していく所存です。このたび、50回記念大会を、3日間の拡大版として提供させていただきます。そして、国内外の企画者の皆様や、公募にご応募いただきました教育者の皆様と共に、2つのシンポジウムと10のワークショップを開催いたします。どうぞ奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

日時： 2013年11月1日（金）13：00～18：00、2日（土）8：30～18：00、3日（日）8：45～12：45

場所： じゅうろくプラザ・岐阜大学サテライトキャンパス（いずれもJR岐阜駅前）

受付： 8月下旬より、MEDCホームページにて申込受付開始予定です

内容： シンポジウム（日本語訳あります）

1 終着駅のない旅：学びを促す力の開発、評価とそのエビデンス（仮題）

Dr. Yvonne Steinert (Associate dean of faculty Development, the Director of the Centre for Medical Education, McGill University)ほか



2 職種の境界と壁を超える：職種間連携の実践と社会学的考察（仮題）

Dr. Susan Bridges (Co-Director of the Centre for Innovation in Dental Education Faculty of Dentistry, The University of Hong Kong) ほか



予定されるワークショップのラインアップ

- 1 質的研究としての談話分析 (Dr Susan Bridges 他)
- 2 やる気を促す教員養成、評価、研究 (Dr. Yvonne Steinert 他)
- 3 情動を育む教育ストラテジーとその最新の知見
- 4 医療教育研究を洗練するコツ
- 5 学究的な医療教育者への成長
- 6 学習・研修でメンタルな困難を抱える学習者の対応
- 7 研修医のための多方面からの効果的ケアとメンタリング
- 8 公募枠：moodleを学ぼう：eラーニングのつくりかた
- 9 公募枠：すぐに身につくフレキシブルな指導方法をマスターしよう
- 10 公募枠：聴衆反応システムを用いて授業をもっと双方向的にするためのワークショップ – インストラクショナル・システムス・デザインの応用–

50回
記念

参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。

「MEDC」で簡単検索できます。

締め切り：2013年7月28日（日）

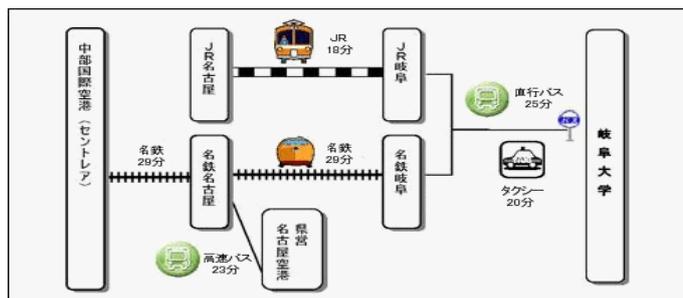
ホームページからお申し込みできない方は、FAX（058-230-6468）でご連絡ください。
会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

参加費： 2,000円（資料代）学部学生無料

懇親会費： 4,000円

受付時に徴収いたします。
資料代は、資料作成ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成の一部に使用いたします。
参加者には後日、報告書を送付いたします。（学部学生は報告書の送付は含まれません）

会場： 岐阜大学医学部 教育・福利棟（岐阜市柳戸1-1）



市内バスには、JR岐阜⑨番のりば、もしくは名鉄岐阜⑤番のりばからご乗車いただけます。

C70、C60、N45系統をご利用ください。

「岐阜大学病院」バス停でお降りください。

所要時間約30分です。